

2022年10月13日

株式会社三菱UFJ銀行

首都高速道路株式会社が発行するソーシャルボンドへの投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、本日、首都高速道路株式会社が発行する「首都高速道路株式会社第30回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構併存的債務引受条項付）」（以下 本債券）への投資を決定いたしました。

本債券は、社会的課題の解決に資する事業に要する資金を調達するために発行する債券です。本債券の発行により調達された資金は、同社が担う高速道路事業に充当され、「所要時間の短縮や渋滞緩和」、「定時性・安全性の向上」、「危機管理・災害対策の強化（首都直下地震、気象災害激甚化等）」、「インフラの高齢化対策」、「大気環境改善」などの社会的課題解決に活用されます。同社高速道路事業は、国際連合の策定する持続可能な開発目標（SDGs）の達成にも貢献します。

なお、本債券は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、セカンド・パーティ・オピニオンを取得し、国際資本市場協会（International Capital Market Association/ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則 2021^[1]」に適合していると認められております。

当行は、本債券への投資を通じ、今後も高速道路事業の促進を図ると同時に、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成への貢献をより一層進めてまいります。

【本債券の概要】

銘柄	首都高速道路株式会社第30回社債 （一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構併存的債務引受条項付）
年限	5年
発行額	280億円
発行日	2022年10月20日

[1] 国際資本市場協会（ICMA）が定義する「ソーシャルボンド原則 2021」（英文）は以下をご参照ください。
<https://www.icmagroup.org/sustainable-finance/the-principles-guidelines-and-handbooks/social-bond-principles-sbp/>

以上